

千年にわたり続けられてきた 阿蘇の野焼き文化。

野焼きはなぜ必要なの？

野焼きをすることにより草の芽立ちを促し、牛馬の飼料供給に適した草原を維持することができます。そうして守られる草原は草原性の動植物のすみかや、雄大な草原景観を形成しています。

野焼き支援ボランティアとは？

人手不足や高齢化で野焼きや輪地切りの持続が困難な牧野に、ボランティアを派遣し、草原の維持、継承を行っています。
1999年に初めて実施。継続的に支援を行ってきました。

どのくらいの規模、人数？

阿蘇地域全体の3分の1以上にあたる草原で、年間延べ2300～2500名ほどのボランティアが支援活動を行っています。登録ボランティアは熊本県内外に約1000名です。多くの方が参加されています。



野焼き支援 ボランティア

解説
BOOK

阿蘇 千年の草原を
次につなぎたい

次の千年へ

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2307 熊本県阿蘇市小里 656-1 阿蘇草原保全活動センター内



tel 0967-32-3500 fax 0967-32-3355
<http://www.asogreenstock.com>



公益財団法人 阿蘇グリーンストック

太古から受け継がれてきた 阿蘇の豊かな草原。

阿蘇の草原は人の手により 守られてきた。

世界最大級のカルデラの上に広がる阿蘇の草原は、自然にできたものではなく、放牧・採草・野焼きなど地域の人々が手をいれることにより維持されてきました。

草原の 面積は？

現在の阿蘇の草原面積は約2万2000ha、このうち約7割(1万5000ha)の草原で毎年野焼きが行われます。しかし、様々な理由で草原面積は年々減少傾向にあります。

千年以上も昔から続いてきた貴重な草原を
後世へと伝えていくために、今こそ、人の力が必要です。

あなたが野焼き支援ボランティアとして加わることで、
阿蘇の草原は次の千年へと継承される
のです。

あなたもボランティア活動に
参加しませんか？